

平成 30 年大阪府北部地震 被災状況および支援活動状況の概要

■大阪北部地震概要

6月18日（月）午前7時58分、大阪府北部を震源地に震度6弱（M6.1）を記録する地震が発生しました。大阪府豊中市、箕面市、高槻市、茨木市、摂津市、枚方市等の複数の市町にまたがり地震による被害が出ており、全壊3棟・半壊20棟・一部損壊11,876棟の住家被害、死者5名・負傷者421人・最大避難者数4,936人（6月27日現在、大阪府発表）の人的被害が出ている状況です。



■大阪北部地震状況

今回の地震は、街中の被害状況が見えにくいため、熊本地震や過去の地震と比べ、今回は地震の揺れにより、幸いにも倒壊家屋などはわずかで、被害状況を見ただけでは把握できる状況ではありません。

そのため、街中を歩いてみると、屋根瓦のズレや建物の外壁の亀裂など一部損壊の建物が多く見られます。このように過去の地震災害から比べると、被害のインパクトが少なく支援の必要な状況が伝わりにくいというのが特徴です。



(写真提供：災害NGO 結)

■支援の状況

被害の大きかった大阪府北部地域は、人口が密集している地域であり、市町外から移り住んだ住民も多く、人口の規模も大きいので、地方に比べると地域とのつながりが希薄な地域もあります。



(写真提供：JVOAD)

そうした地域での関係性が希薄であればあるほど、支援の声が上げにくい方たちへの支援が届かず、被災状況が埋もれてしまう危険性があります。

今回の地震では広範囲に被害が及んでいる中で、そうした被災された住民の方々への困りごとの支援に、大阪府内外から多くのNPO・ボランティア市民活動団体が支援に駆けつける中で、屋根瓦へのブルーシート張り等の技術を伴う活動や、避難所での物資配布、家の中で倒れた家具や家財道具の片付けなどボランティアによる被災者支援活動が行われている状況です。



(写真提供：JVOAD)

現地では、まだまだ被災された住民の方からの困りごとの声が多く寄せられています。そのため、多くのボランティア活動による支援が必要とされており、その活動を支えるために「支える人を支える」活動支援金へのご支援をお願いいたします。